

予 算 要 求 資 料

令和8年度当初予算

支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：国際化推進費

事業名 移住者等援護協力活動費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

観光文化スポーツ部 国際交流課 国際交流係 電話番号：058-272-1111(内3975)

E-mail : c11345@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 3,802千円 (前年度予算額： 3,808千円)

<財源内訳>

区分	事業費	財 源 内 訳						
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使 用 料 手数料	財 産 入	寄 附 金	そ の 他	県 債
前年度	3,808	0	0	0	0	0	0	0
要求額	3,802	0	0	0	0	0	0	0
決定額								

2 要求内容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

本県出身のブラジル、アルゼンチン及びペルーへの移住者の子弟等を県内大学等に留学生として受け入れるとともに、多文化共生事業への活用を図る。

また、本県出身関係者で構成するブラジル、アルゼンチン及びペルーの県人会の活動に対して補助し、各県人会との連携強化を図り、各種の国際交流事業等を推進する。

(2) 事業内容

① 県費留学生地域共生活用促進事業費

ア 移住者支援

本県出身移住者の子弟等を、留学生として県内の大学等で受け入れることにより、将来にわたり本県との交流・協力を推進する人材を育成し、移住者社会を支援する。

対象：ブラジル、アルゼンチン及びペルーの岐阜県人会の会員又は会員の子弟
受入人数：1名

イ 国際交流推進支援

国際交流団体の実施する事業への参加等を通じ、県や市町村の推進する国際交流施策推進を支援する。

② 岐阜県海外県人会活性化事業補助金

ブラジル岐阜県人会、アルゼンチン岐阜県人会及びペルー岐阜県人会が実施する日本文化継承等を目的とした事業へ補助を行う。(定額補助)

(3) 県負担・補助率の考え方

県出身者の移住者支援施策であり、県負担は妥当。

(4) 類似事業の有無

なし

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
旅費	69	業務旅費、費用弁償（留学生関係市町村派遣に係る旅費）
補助金	1,050	補助金（ブラジル：800千円、アルゼンチン：150千円、ペルー：100千円）
その他	2,683	負担金（県費留学生地域共生活用促進事業に係る留学費）
合計	3,802	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

岐阜県国際交流戦略

国際交流戦略に基づく分野別及び国・地域別交流の進め方

2 国・地域別交流の方向性 (4) 南米地域

(2) 国・他県の状況

国及び他県においても、海外移住者支援事業を実施している。

(3) 後年度の財政負担

今後も引き続き各県人会との連携強化を図るため、財政負担は必要。

(4) 事業主体及びその妥当性

県出身者の移住者支援施策であり、県は事業主体として妥当。

事業評価調書（県単独補助金除く）

<input type="checkbox"/> 新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/> 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

- ・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

今後の岐阜県と、ブラジル、アルゼンチン、ペルーとの交流促進において、現地県人会は核となる存在になっており、その活動支援を行い、更には国策として送り出された移住者のアイデンティティの継承を行っていく。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R10)	達成率
①国際交流事業への参加（累計）		2回	5回	5回	5回	40%

○指標を設定することができない場合の理由

--

（これまでの取組内容と成果）

令和4年度	県費留学生地域共生活用促進事業においては、ブラジルから1名の県費留学生を受け入れ予定であったが、新型コロナウイルスの影響により、受入れを中止した。今後、新型コロナ感染拡大の終息を見計らって留学生受け入れを再開し、事業目標達成を目指していく。 指標① 目標：12回 実績：0回 達成率：0%
令和5年度	ブラジルから1名、県費留学生を受け入れた。留学生は岐阜大学の協力の下、1年間県内で勉学に励んだほか、県が実施する国際交流事業に参加し、自身のルーツである岐阜について理解を深めた。留学生は帰国後、経験を活かし日系の旅行会社に就職しており、移住者のアイデンティティ継承が図られている。 指標① 目標：12回 実績：3回 達成率：25%
令和6年度	ブラジルから1名、県費留学生を受け入れた。留学生は岐阜大学の協力の下、1年間県内で勉学に励んだほか、県が実施する国際交流事業に参加し、自身のルーツである岐阜について理解を深めた。 指標① 目標：12回 実績：2回 達成率：17%

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)

3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない

(評価) 3	県人会会員の高齢化による組織の弱体化が進んでおり、県人会の活動を担う次世代の育成が必要。
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)	
3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない	
(評価) 2	帰国後、留学生が県人会活動に参加することで、活性化を図ることができている。
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか)	
2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価) 2	県費留学生の来岐経費を精査し、その受入・活用においては県が推進する多文化共生推進施策において活用するなどしている。

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項

県人会の会員(特に役員クラス)が年々高齢化しているため、若い日系人の参加が課題であり、各県人会において若い人たちが参加できる県人会の活動の仕組みづくりが必要である。

また、2世、3世と日本語の読み書きができない若い日系人が増えており、日本とのつながりが希薄となってきたため、日本とのつながり作りが必要である。

(次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか

県と県人会をつなぎ、将来にわたり交流・協力を促進する人材を育成するべく、本事業は継続していく必要がある。また、令和8年11月に開催予定のGKI(岐阜県人会インターナショナル)第二回岐阜県人世界大会を契機に、各県人会の更なる活性化を支援していく必要があり、各県人会のニーズも踏まえ、適切な支援策を継続させる。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	【〇〇課】
組み合わせて実施する理由 や期待する効果 など	

県単独補助金事業評価調書

<input type="checkbox"/> 新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/> 継続要求事業

(事業内容)

補助事業名	岐阜県海外県人会活性化事業費補助金
補助事業者（団体）	ブラジル岐阜県人会、在アルゼンチン岐阜県人会、ペルー岐阜県人会 (理由) 本県出身関係者で構成する移住者団体
補助事業の概要	(目的) 本県出身関係者で構成する各県人会の活性化、県との連携強化を図る。 (内容) 各県人会の活動に対して、補助金を交付する。
補助率・補助単価等	定額 (内容) ブラジル岐阜県人会：800千円、在アルゼンチン岐阜県人会：150千円、ペルー岐阜県人会：100千円 (理由) 各岐阜県人会において、規模が異なるため。
補助効果	県と各国との交流促進、移住者のアイデンティティの継承を図る。
終期の設定	終期：令和10年度 (理由) 5年毎に見直しを図る。

(事業目標)

・終期までに何をどのような状態にしたいのか 現地県人会は、県との交流の核となる存在になっており、その活動を支援することで、県人会活動の活性化、本県との交流促進、移住者のアイデンティティの継承を図る。

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (R)	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R10)	達成率
①ブラジル岐阜県人会 会員数	不明	350	302	312	322	108.7%
②在アルゼンチン岐阜県人会 会員数	不明	120	130	140	150	80.0%
③ペルー岐阜県人会 会員数	不明	30	135	140	150	20.0%

補助金交付実績 (単位：千円)		R4年度	R5年度	R6年度
		ブラジル岐阜県人会	800	800
	在アルゼンチン岐阜県人会		250	0
	ペルー岐阜県人会		0	0

(これまでの取組内容と成果)

令和4年度	ブラジル岐阜県人会、アルゼンチン人会に対し、補助金を交付した。各県人会では、日本文化に関する講習会等を通じて会員同士の親交を深め、会の活性化を図っている。
	指標① 目標：725 実績：675 達成率：93%
令和5年度	ブラジル岐阜県人会に対し、補助金を交付した。各県人会では、日本文化に関する講習会等を通じて会員同士の親交を深め、会の活性化を図っている。
	指標① 目標：322 実績：282 達成率：87.5%
令和6年度	ブラジル岐阜県人会に対し、補助金を交付した。各県人会では、日本文化に関する講習会等を通じて会員同士の親交を深め、会の活性化を図っている。
	指標① 目標：322 実績：350 達成率：108.7%

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)	
3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない	
(評価) 3	県と各国交流の核となる県人会の存在は大きく、県人会活動を継続させていくための支援は必要である。
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)	
3：期待以上の成果あり（単年度目標100%達成かつ他に特筆できる要素あり） 2：期待どおりの成果あり（単年度目標100%達成） 1：期待どおりの成果が得られていない（単年度目標50～100%） 0：ほとんど成果が得られていない（単年度目標50%未満）	
(評価) 2	各県人会の活動を支援することで、県の各種施策を円滑に進めることができており、期待どおりの効果が得られている。
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか)	
2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価) 2	県人会からの申請を容易にするため、英語版を作成、申請様式を定める、押印の廃止等の効率化を図っている。

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項	
県人会の会員（特に役員クラス）の高齢化により、若い日系人の参加が課題となっている。各国県人会において若い人たちが参加できる県人会の活動の仕組みづくりが必要である。また、日本語の読み書きができない若い日系人が増えており、日本とのつながりが希薄となってきたため、日本とのつながり作りが必要である。	

(次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか	
県が各国と交流する上で、岐阜県人会は核となる存在であり、県人会の活動を活性化させていくために、本補助金は必要である。	